



(ミャンマーの最大都市ヤンゴン中心部で行われた抗議デモ=2月7日 (ロイター=共同))

留学生センター主催講演会

ロヒンギヤから見た ミャンマー情勢

日時：5/26 (水) 14:30~

場所：オンライン開催

2021年2月、突如、ミャンマー国軍がクーデターを起こし、2011年以来のアウン・サン・スー・チー氏を代表とする民主政治を覆した。抗議する市民に対し、警察や軍が実弾を発砲して弾圧、若者や子供の死者も拡大し、少数民族への空爆も行われている。国際社会の非難に関わらず、この暴力が収まらない今、私たちは何をすべきでしょうか。ミャンマー国軍によって国を追われ100万人とも言われる難民となった少数民族ロヒンギヤを支援する在日ロヒンギヤの方からお話を聞き、共に考えていきましょう。

講師

アウンティン氏

(日本名：水野保世)

在日ビルマロヒンギヤ協会

副会長

プロフィール：1980年代のミャンマー民主化運動の弾圧から逃れ、日本に亡命。日本に帰化し、自営業を営みながら、ロヒンギヤ難民キャンプでの学校建設や支援を続けている。

主催：東京学芸大学

留学生センター

担当者：岡 智之

okatom@u-gakugei.ac.jp

(オンライン開催になりましたので、下記フォームから申込をお願いします。)

https://docs.google.com/forms/d/1gCIW_LwiDDdh5FAAG3E4ItoFMlKGqwkVUEHIDZ31ZGo/edit